



山形県青年の家より隔月発行でお知らせしています

山青の風

R3. 8~11月号

発行日 令和3年12月3日
発行 山形県青年の家
〒994-0032
天童市小路一丁目7-8
TEL 023(654)4545
FAX 023(652)2007

ボランティア再始動元年 青少年ボランティア活動の灯りをともし続けよう！！

青年の家コーディネートボランティアサークル「nico こえ」誕生！

■ 10月13日(水)に青年の家コーディネートボランティアサークル結成のキックオフミーティングがオンラインで開催されました！山形大学から1名、山形西高から1名、山辺高から6名が参加し、画面越しに初めての顔合わせとなりました。まず、青年の家所長から「街にやさしさをつくろう！」というキーワードのもと、柔軟なアイデアでのボランティア活動を期待するという挨拶がありました。参加した皆さんの自己紹介の言葉の端々から、ボランティアにかける情熱を垣間見ることができました。次に、サークル名について自分たちの考えを出し合いました。出した案のなかに「smile」を含むものが多くみられ、「smile」×ボランティアの組み合わせを希望していることがよく分かりました。さらに、今後実施予定のボランティアについてのアイデアを出し合い、ボランティアへの熱が冷めやらぬうちに幕を閉じました。

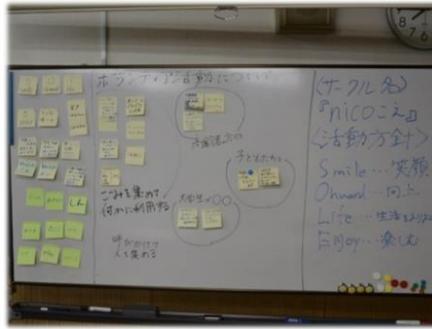


11月21日(日)に山形県青年の家を会場にしてリアルミーティングがやっと実現しました！サークル唯一の大学生である野口さんに司会をしてもらい、サークル名や活動方針、今後の予定について話し合いをしました。サークル名はキックオフミーティングからさらに発展形となり、「nico こえ」に決まりました。「nico」にはニコニコ、笑顔、スマイルなどの意味を含み、「こえ」には

人種・学年・年齢をこえて話せる雰囲気という願いが込められています。さらに、Smile…笑顔、Onward…向上、Life…生活をよりよくする、Enjoy…楽しむといった活動方針も決まりました。なんと、これらの頭文字を並べると、SOLE…唯一のという意味が！！今後のサークルの活動に乞うご期待ください。



ボランティアサークル「nicoこえ」誕生！



「わいわいカフェ」でポッチャを楽しみました！

■ 10月6日(火)にひきこもり等で施設を利用している青少年を対象にした「わいわいカフェ」を行いました。4つの関係団体から合わせて27名の皆さんが参加し、東京パラリンピックで一躍注目を集めたポッチャを体験しました。ポッチャはユニバーサルスポーツであるため、老若男女問わず誰でもプレーすることができます。まず始めに、ポッチャのルールなどについてレクチャーを受け、3名ずつの8チームに分かれて、試合形式で実際にボールを投げ入れながら練習をしました。思った以上に転がったり、転がらなかつたりするボールに悪戦苦闘しながら、参加者の皆さんは徐々に腕前を上達させていきました。そして、1チームにつき3試合の交流試合を行いました。チームごとの総得点で競ったところ、2チームが総合10点で同率首位に立ち、最後に優勝決定戦を行い、とても盛り上がりました。参加した皆さんからは、「楽しかった」という感想が多く寄せられ、大変好評であったことが伺い知れました。最後に、県指導者協議会の安孫子豊氏と高橋静雄氏の両氏、NPO法人から・ころセンターの佐藤祐治氏には、用具の提供、指導・審判で大変お世話になりました。ありがとうございました。



家庭教育支援研修会「食育学習とスラックライン体験」

■ 11月6日(土)に山形県青年の家を会場にして、家庭教育支援研修会「食育学習とスラックライン体験」を行いました。秋真っ盛りの好天のもと、小学生11名とその保護者9名の計20名(東根市・天童市・寒河江市・山形市から)が参加しました。

前半は講師の佐藤幸恵先生(山形県教育庁スポーツ保健課食育担当主査)から、「元気な体に必要な食事」と題した講義をしていただきました。クイズ形式や実物大の野菜の写真、拡大絵本などを交えながらの説明は、子ども目線でも大変わかりやすいものでした。また、今朝食べてきた朝食を親子で思い出しながら書き出し、それを今度は食べ物の働きによって3色に分けることによって、栄養バランスの偏りがないかどうかを確認しました。最後に、給食にはなぜ牛乳が欠かせないのかを理解してもらうために、牛乳に含まれるカルシウムの量を紙に書いた骨の数で表現しました。200本ほどの骨の絵が会場を取り囲む様子は、大変に見応えがあり、カルシウムの摂取の大切さが視覚的に理解できました。

後半は五十嵐晃先生[鶴岡スラックライン代表・(一社)日本スラックライン連盟B級インストラクター]から「スラックライン」を指導していただきました。本間莉那さんと加藤早織さん(鶴岡スラックライン)からも体験補助にいただきました。まず、ウォーミングアップに始まり、ライン上での基本技能を体験しました。子どもの適応能力は非常に高いものがあり、大人のひざ丈のライン上で立ったり、歩いたりすることができていました。最後は大人の男性の背丈ほどある高さに張ったラインの上を補助付きで歩くチャレンジをしました。今回の家庭教育支援研修会も体験活動を通して親子の“絆”がさらに深まったことでしょう。



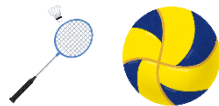
8~11月の利用団体

【宿泊利用】

- ・リベルタサッカースクール

【日帰り利用】

- ・KBC(バドミントン)
- ・TBC(バドミントン)
- ・天童四中サンデーシャトルズ(バドミントン)
- ・かしわ男子バスケットボールクラブ
- ・R48バスケットボールスポーツ少年団
- ・R48女子バスケットボールスポーツ少年団
- ・1st. Revバスケットボールクラブ
- ・1st B. C(バスケット)
- ・バスケットボールスクール ハーツ
- ・天童二中女子バスケットボール部
- ・山形二中女子バスケットボール部
- ・羽黒高校女子バスケットボール部
- ・秋田県少年女子バレーチーム
- ・酒田光陵高校男子バレーボール部
- ・TGBスポーツ少年団(リフトニス)
- ・鶴岡市立鶴岡第五中学校(合唱)
- ・天童南部第三学童保育所
- ・株式会社 山形ビルサービス
- ・山形県教育庁村山教育事務所
- 地域青少年ボランティア活動推進事業
「MYボランティア スキルアップセミナー」
- ・山形県教育庁生涯教育・学習振興課
「東北大学社会教育主事講習」
- ・山形県教育庁スポーツ保健課
「新規採用養護教諭研修」
- ・山形県青年の家
「わいわいカフェ」
「TATプロジェクト」
「家庭教育支援研修会(食育学習とスラックライン体験)」



今後の主催事業

【12月】

12/11(土)

YYボランティアの集い

12/25(土)

ボランティア実技研修会

申込期間 11/15(月)~12/10(金)

対象 中高生及び指導者

青少年ボランティアに興味・関心のある方



【1月】

1/15(土)

青年の家体験講座

「地域の食文化を学ぶ」

~麹による豊かな発酵文化! 甘酒の神秘と秘伝豆の味噌づくり~

申込期間 12/3(金)~1/5(水)

対象 中高生・短大生・大学生等

1/29(土) <内陸会場>

1/30(日) <庄内会場>

地域をつくるリーダーセミナー

~交流を通して、生徒会活動も地域も盛り上げよう!~

申込期間 12/1(金)~1/17(水)

対象 高校等の生徒会役員等



[10/16・17 リベルタサッカースクール]